

BE 試験方法基準化検討 WG H20 年度第 1 回委員会 議題書

日 時： 2008 年 7 月 9 日（水）17：00～18：30

場 所： 中国新聞社会議室 704（広島）

参加者： 山下、安部、荻野、川口、桑野、黄、澁谷、豊田、藤原、堀、三上、中田

議事：

1．メンバー紹介（資料 1）

参加者で自己紹介を行った。メンバー名簿の訂正事項は中田まで連絡する。

2．WG 設立の経緯と目的について（資料 2）

委員長から設立趣意書に基づいて、説明があった。

また、基準部からの要望内容を確認した。

3．活動内容について

基準部からの要望をうけ、現地調査（ V_s による現地盤の地盤特性の評価、改良地盤の品質管理（ V_s - q_u 関係）・・・）を中心に、実務での例の収集が重要であるという認識を得た。

また、以下のような具体的な活動を行うこととなった。

○ BE の利用状況の実態調査

・ 文献調査（主査：荻野）

以下のような分担で、文献調査を行うこととなった。なお、9 月までに、調査様式を定め、年度内にとりまとめること

S&F、地盤工学ジャーナル：桑野

地盤工学研究発表会：山下（H11-15）・安部（H16-20）

地盤工学会誌：荻野

土木学会論文報告集：三上

年次学術講演会概要集：中田

Journal of geotechnical and environmental engineering, ASCE：堀

ASTM Geotechnical testing Journal：黄

Geotechnique：川口

Canadian geotechnical journal：豊田

ICSMGE, ARC：藤原

IS シリーズ (Sapporo, Torino, Lyon, Atlanta) : 渋谷
港研資料 : 田中

・ アンケート調査 (普及状況 , 使用度 , 需要 , 目的など) (主査 : 桑野)

○ 共通 BE を用いた一斉試験 (TC29) の実施と解釈 (主査 : 川口)

○ 第 44 回地盤工学研究発表会 (2009) での DS の開催

上記の結果をとりまとめて、WG 報告、共通試験結果の報告、実務での実用例などを中心にして、運営することとなった。

・ その他

4 . 基準化について (フリーディスカッション)

基準化について、以下のような意見が上がった。

- ・ 剛な容器の場合をどうするか
- ・ 試験装置を特定しない方法で基準化してはどうか
- ・ 超音波をもちいた岩の弾性波速度測定法についてが参考になる

5 . 今後のスケジュールについて

年度末を目処に、文献調査、アンケート調査、共通 BE 一斉試験などを取りまとめ、来年の地盤工学研究発表会での DS で発表

6 . その他

次回委員会予定 20 年 11 月下旬 ~ 12 月上旬 場所 : 東 京

資料

- 1 . ベンダーエレメント試験方法基準化検討 WG 名簿
- 2 . 設立趣意書と基準部からの回答